

経営概要

かいと あやか

木村 海音、彩歌

◆代表者・所在地

木村 海音、彩歌 福井県大野市

◆経営規模

乳用牛11頭、飼料作物1ha

◆従業員数

家族労働 1 名

◆事業内容

酪農を中心に、受精卵移植により和牛子牛生産にも取り組む。



木村夫妻

1 現状と相談までの経緯

地元である福井県で酪農をしたいと学生時代から考えており、県外の畜産大学を卒業後、北海道にある妻の実家の牧場に勤務していた。そのような中、福井県大野市で離農する酪農家がいるという話を聞き、施設・設備を譲り受け、就農することを決めた。

施設・設備を譲り受けて就農するためには、具体的にどのように進めるべきか分からなかったため、福井県農業経営・就農支援センターのサテライト窓口である普及指導センターに相談した。

2 相談内容

施設・設備の譲り受けに関する契約書の作成をしたいが、継承後に問題が発生しないよう、内容に不備がないか専門家の助言を受け、**円滑に継承を行いたい**。

また、酪農経営の資金管理や経営管理について助言を受け、**就農計画を作成したい**。

3 支援内容

■支援チームによる支援計画の策定

普及指導員と市職員が継承内容や就農スケジュールなどについて聞き取りを行った。聞き取り内容を踏まえ、スムーズな施設・設備の譲り受けと資金管理を重視した就農計画を作成するには、これらの助言を行う専門家の派遣が必要と判断し、支援チームを編成して支援計画を策定した。

■専門家派遣を通じた助言の実施

支援計画に基づき、普及指導員が中心になり、市職員と共に**課題の整理**を行った後、**専門家派遣を実施**した。また、関係機関と共に**就農に向けた支援**を行った。

・経営継承と資金管理に関する助言（農業経済研究所代表）

過去の事例を踏まえ、継承に関する契約書案の作成について助言した。酪農経営の資金管理の考え方について説明し、就農計画の作成について助言した。

・譲渡にかかる税に関する助言（税理士）

譲渡時に発生する税や譲渡額の決定方法について助言した。

・家畜の導入や補助事業活用等に関する助言（市職員、関係機関、普及指導員）

福井県には第三者継承による酪農の新規就農の事例が複数あることから、**福井県畜産協会と連携し、成功事例を参考に、牛の導入計画や就農計画の作成について助言**した。また、補助事業や活用すべき制度、開業時の手続き等について説明した。

支援チーム構成員：

農業経済研究所代表（元日本政策金融公庫職員）、
税理士、普及指導員、市職員



オンライン会議システムを活用した専門家派遣の様子

■ 支援を受けて・・・

専門家の助言を基に施設・設備の譲渡に関する同意書を作成し、前経営者から**施設・設備を円滑に譲り受けることができた**。

また、**認定新規就農者に認定**され、令和6年4月に乳用牛を購入し、**経営を開始**した。

■ 今後の展開

搾乳を行える牛床を修繕し、乳用牛を増頭する。また、生乳販売だけではなく、和牛受精卵を活用し、和牛子牛を生産することで、経営を酪農と子牛繁殖の二本柱とし、安定化させる。

また、将来的にはソフトクリームやバター加工などの6次産業化を目指したい。



乳用牛を手入れしている様子

喜びの声

畜産経営に詳しい専門家に直接お話を伺うことができ、経営に係るお金の基礎的な用語を解説していただいたり、経営をスタートさせた後の資金統制のお話を聞かせていただいたりしたことで、経営に対する解像度が上がり、不安も小さくなりました。

金融機関に提出する営農計画などの相談にも乗っていただき、とても心強かったです。

専属スタッフ所感

相談者が福井に移住する前から、支援チームとのオンライン会議を通して就農に向けた準備を進められたことや相談者自身が積極的に課題に取り組まれたことで、目標であった円滑な新規就農・経営継承が達成できたと思います。

酪農経営が厳しいと言われる昨今ですが、地域を牽引する若手酪農家として、今後の経営発展を期待しています。

引き続き、営農計画の見直し等、経営発展に向けた伴走支援を行っていきたいと思います。

<支援機関> 福井県農業経営・就農支援センター

組織概要

■ 相談窓口

【経営・就農相談】

住 所：福井県福井市寮町辺操52番21号
福井県農業試験場 農業経営・流通支援課
電話番号：0776-54-9312
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～12：00 13：00～17：00

住 所：福井県福井市松本3丁目16番10号
福井合同庁舎2階
一般社団法人 福井県農業会議
電話番号：0776-21-8234
受付時間：月曜日～金曜日（年末年始・祝日を除く）
8：30～12：00 13：00～17：00



福井合同庁舎外観

各地区の農林総合事務所・嶺南振興局をサテライト窓口として、法人化、新規就農、雇用の導入、経営承継等、農業経営のレベルアップに向け、さまざまな支援を行っています。